

令和7年度 事業計画書



Tsukuba Global Innovation
Promotion Agency

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

夢を育み、未来を創る街

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構
令和7年度事業計画書 目次

- 1 令和7年度事業計画の基本的な考え方
- 2 事業活動の内容
 - (1) 技術シーズの事業化支援
 - (2) プラットフォーム（共創場）の構築
 - つくばにおける技術・連携相談のワンストップ窓口による支援
 - つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催
 - つくば国際戦略総合特区プロジェクトに対する情報発信
 - つくばライフサイエンス推進協議会（TLSK）の運営
 - T I A連携の運営
 - 食と先端技術コンソーシアム（仮）の運営
 - (3) 筑波研究学園都市における国際化の推進
 - (4) 情報発信活動
 - 広報媒体の強化
 - 筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催
- 3 会員との連携活動の推進
- 4 法人の運営に関する事項

1 令和7年度事業計画の基本的な考え方

令和7年度においても、これまで行ってきた文部科学省の補助事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」及び「茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（内閣府地方創生推進交付金事業）」並びに「医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）（AMED）」等での事業成果・ノウハウ等の成果をベースにしながら、つくば地域のイノベーション・エコシステム構築に向けて、つくば発のイノベーション創出が自律的に継続できるシステム・環境づくりを目指す“エンジン”として、行政や大学、研究機関、企業、国際機関（HLF:ハイレベルフォーラム、GFCC:世界競争力協議会連盟）などと連携し、地域の特性をいかした連携の動機づけとなるよう、つくば地域の重要課題が俯瞰できるようにし、つくば地域の各機関が持つ多数のコア技術を有機的に結び付け、つくば地域を地域及び我が国の産業の高度化に資する科学技術・イノベーション創出拠点となるよう様々な事業活動を通じて社会実装支援を実施します。

2 事業活動の内容

(1) 技術シーズの事業化支援

つくば地域の豊富な技術シーズを事業化へと導き、世界に大きなインパクトを与える成功事例を創出するべく、技術シーズの発掘・育成から出口（社会実装）まで一貫した支援を実施します。

その中で、社会課題等の課題に対してつくば地域の研究機関が共通に取り組む研究の状況を共有することにより、連携・共同研究等の促進を支援し、つくばの魅力として発信します。また、新しいビジネスモデルの創出やスタートアップ創業支援を実施します。

医療機器の事業化支援では、関東地域における地域連携拠点を主宰します。開発初期からグローバル展開に向けた出口戦略支援、各機関が持つコア技術を有機的に結び付けてイノベーションにつなげる等の事業化支援を行います。

(2) プラットフォーム（共創場）の構築

つくば地区にある様々な制度・プログラムや関係機関の連携、人材の交流に取り組み、つくばが「未来を育み未来を創る街」として発展していくための「つながる」基盤づくりに取り組みます。

つくばにおける技術・連携相談等のワンストップ窓口による支援

筑波研究学園都市の各研究機関とのネットワークを活用したマッチング支援等を通じて、研究者や企業の課題解決を実現する「つくばテクニカルコンシェルジュ (TTC)」活動を推進します。

特に、つくば地域の多様な研究成果を地域社会や産業界へ還元するために、様々な企業の技術的ニーズと研究成果との橋渡しを実現する姿を目指し、本取組をつくば地域のみならず全国的にPRしていきます。また、JETRO や茨城県グローバル戦略チーム等と連携し、国際的な活動も推進します。

また、外国人研究者等の帯同者が職を探す際の問合せのワンストップ受付や、専門人財の確保・雇用に係る情報共有のための枠組みの場でのコーディネーション役等を担います。

つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催

各機関間の情報共有、イノベーション創出に向けた意見交換、研究情報・産学連携施策の紹介や知財関連情報共有など、関係機関の協力を仰ぎながら定期的な開催を継続して実施します。

つくば国際戦略総合特区プロジェクトに対する情報発信

つくば国際戦略総合特区に係る既存プロジェクトの推進に関連する業務を行います。

つくばライフサイエンス推進協議会 (TLSK) の運営

つくばライフサイエンス推進協議会の事務局を行います。TLSK ピッチ会と若手交流会を開催します。また、GTB (Greater Tokyo Bio community) において、TGI はつくばエリアの窓口機関を担います。

T I A 連携の運営

T I A 幹事機関の指示に従い、T I A 連携の事務局業務として、協議会の開催及び運営に係る事務、T I A の連携プログラム探索事業である調査研究「かけはし」の実施に係る事務及びその他 T I A 連携に必要な事務を行います。

食と先端技術コンソーシアム (仮) の運営

食に関連する分野の企業、行政・自治体等の情報の収集、交流、マッチングを支援することで、組織間の共同研究やビジネスへの発展、海外市場への展開に貢献するため、「食と先端技術コンソーシアム (仮) (Food Cutting-edge Technology Consortium (FCTC))」の事務局業務を実施します。

(3) 筑波研究学園都市における国際化の推進

ハイレベルフォーラム 2025 への参加、つくば地域の研究機関の代表機関として、SCOM メンバーとなり、ハブ機能の役割を果たします。

世界競争力協議会連盟（GFCC）等の活動を通じ、産学官の連携強化とエコシステムの形成に係る企画・運営に必要な知見についての国際的な議論に参加し、グローバル市場での競争力を強化します。

(4) 情報発信活動

TGI の認知度の向上を図るため、ウェブサイトや各種イベント等を活用し、情報発信及び広報活動を行います。

広報媒体の強化

筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催 等

3 会員との連携活動の推進

TGI の設立趣旨や事業活動に賛同する会員（企業、研究機関、個人等）との連携活動を推進し、TGI の活動の促進を図ります。また、会員を増加させます。

4 法人の運営に関する事項

TGI の事業全般の企画立案、計画の策定、執行等のため以下の会議等を開催します。

- ・総会（定時総会及び臨時総会）
- ・理事会（通常理事会及び臨時理事会）
- ・経営会議（事前調整及び報告事項）